



蓬田

村の人口	
52. 12. 1 現在	
人 口	男 2,244
	女 2,345
	計 4,589
世 帯 数	997

編集と発行 蓬田村公民館 第111号

S. 53. 1. 1



村民のみなさん
あけまして
おめでとうございます

村長 坂本 大博 助役 八戸良次郎 収入役 八戸倉次郎

年頭のごとは

新年おめでとうございます

村長 坂本大博



新年おめでとうございます。

村民の皆様には、ご健勝のうちにお慶び申し上げます。

清々しい年頭に当り、所懐の一端を申し上げ、新たな決意のもとに相共に力を合せ、郷土の発展に努めたいと存じます。

顧みますと、昨年は、政治、経済そして社会の全般にわたり、誠に多事多忙な年でありましたが、本村におきましては、蓬田小学校創立百周年記念事業をはじめ、産業、文化等諸般の面において、大きな足跡をしるした事柄は、誠に同慶の至りであり

ます。

さて、光輝ある昭和五十三年の新しい年を展望するに、さしあたって米の生産調整の大問題があります。

これは米作農家として、何と

もしても食管を守り抜き、将来の

て若干申し上げますと、まず何

が十二月十二日中央公民館で開催

三 位 砲丸投男子 個人

ば人間の幸せは、いつも現実と

ても、真義に徹したわが村の村

二 位 卓球 団体

二 位 走高跳 個人

をいかに立派に整えるかが、全

努力を傾注していかなければな

八幡恵右衛門 小松依子

六 位 走高跳 個人

上の銘題と認識される訳であり

そして、その原点は何といっ

二 位 卓球 個人

六 位 柔道 個人

る所得政策が必要であり、特に

どうか村民の皆様、今年こそ

青木ルリ子 大宮正志

三 位 田中 恵 細谷慶子

つぎに、福祉行政につきまし

単ながら年頭のごあいさつとい

横内清三

二 位 個人 稲葉 節子



おめでとう

昭和五十二年度功労表彰授与式

が十二月十二日中央公民館で開催

○村職員在職十五年以上

二 位 卓球 団体

青木ルリ子 大宮正志

八幡恵右衛門 小松依子

横内清三

二 位 卓球 個人

二 位 個人

三 位 砲丸投男子 個人

優 勝 柔道軽量級 個人

三 位 柔道中量級 個人

三 位 柔道重量級 個人

三 上 範夫

三 上 範夫

三 位 柔道 団体

稲葉孝治 坂本信義 三上範夫

二 位 卓球 個人 青木ルリ子

四 位 100米スウェーデンリレー

張間 晶 森 淳一 坂本 勲

柿崎 真人

○県中学校体育大会

二 位 走高跳 個人

佐井 千草

六 位 走高跳 個人

柿崎 春人

六 位 柔道 個人

津島 文行

○県中学校バレー新人戦大会

三 位 田中 恵 細谷慶子

三 位 田中 恵 細谷慶子

細谷美栄子 宮田真紀子

細谷美栄子 宮田真紀子

山谷えり子 細谷 浪子

山谷えり子 細谷 浪子

武井枝利子 青木光子

武井枝利子 青木光子

若佐真由美 久慈あけみ

若佐真由美 久慈あけみ

張間理花子 八戸 幸子

張間理花子 八戸 幸子

○県少年防犯弁論大会

二 位 個人 稲葉 節子

二 位 個人 稲葉 節子

○県健康優良児

特 選 工藤 仁志

特 選 工藤 仁志

新年によせて



教育長 田中 一雄

あけましておめでとうござい
ます。

今年も又関係者の皆さまと共に
よりよい年でありますよう誠
心誠意努力致したいと存じます
ので、何分のご支援とご協力を
お願い致します。

義務教育につきましては、教
育課程の基準の改善と、学習指
導要領が全面改訂となり、戦後
四度目の大改訂であり、義務教
育の大改革と云われているわけ
でありまして、小学校は昭和五
十五年度、中学校は昭和五十六
年度から実施されることになり
ますが昭和五十三年度からその
移行措置がなされますので、教
職に携わる者も、父母の方々も
十分ご理解下さいまして人間性
豊かな子ども達のよりよい育成
のために特段のご協力をお願い
する次第であります。

社会教育面につきましては社
会情勢の変化に伴う理解度の高
揚に努め、特に健全な体力づく
りに意を注ぎ、住民が健康で楽
しい生活ができますよう措置を
講じたいと存じますので皆さま
の積極的なご協力をお願いする
次第であります。

新年を迎えるにあたり、大き
な柱を打立てましたが、ご協力
をお願い申し上げ、皆さまがご
健勝でご多幸でありますようお
祈りして新年の挨拶と致します。



あすなる国体

県民・村民運動の輪を広げよう



花をかざりきれいに



体力をつけ健康な体

これが県民・村民運動



思いやりのある親切

高まった県民・村民運動

○親切で明るい村をつくらう

○きれいな村をつくらう

○健康な村民になろう

と親切にする運動、村を清潔にする
運動、花いっぱい運動、スポー
ツを楽しむ運動と、推進協議会を
発足し村民あげて頑張ったかが
あり、成果が目に見えて上がりま
した。この運動を、長く継続され

国体を終つて

今後にかつこの経験

るためにはやはり、部落ぐるみ、
村ぐるみの運動として活動を続け
て行くことだと思ひます。国体が、
本村に残してくれたこの、土産を
みんなで大切にしましょう。

!!すばらしかった

国体開会式集団演技!!

国体開催以来と全国の人たちか
らも高く評価されたあの国体開会
式の集団演技に、本村からも、青
森県婦人団体の代表として、五十
二名の入道が出演されました。二
年間多忙な中を練習され、蓬田
村民の代表としてよく頑張ってく
れました。本当にご苦労様でした。



今一度このかたがたに大きな拍手
を送りましょう。

また先日県知事から感謝状がお
くられましたことをご知らせします。

//村ぐるみの

炬火リレー大成功!!

本村の炬火リレーの実施に当つ
ては、社会教育団体が主体となり、
実行委員会を発足させ、各種団体
との連絡調整にあたりました。又
このリレーの主役となるランナー
一三八名は、やがて本村を背おう
子どもたち、子ども会会員から、
各部落で選び、会場整備はじめて
いろいろな役割については、各部落
ごとに各種団体が分担し、長年積
上げてきた社会教育の成果がここ
に発揮されました。

この様子を永く保存するために
記録映画をつくりましたので一月
中には各部落で上映の予定です。
ご期待下さい。





長科部落座談会

中沢部落座談会



蓬田部落座談会

瀬辺地部落座談会

蓬田小学校四学年親子話し合い

◎話し合われた主な話題

- 親子の対話がどのようになされているか。
- 子どもが親に、親が子どもに希望すること。
- 家庭内でどんな時が一番いやですか。
- テレビと勉強について。
- こずかいの与え方はどのようにすればよいか。
- 親の共通の問題点

◎親の共通の問題点

- 次の点が親の共通の問題点であり、認識をあらたにしなければならぬ点であると考えます。
- 子どもの年齢相応の発達段階を理解していないこと。
- 親の権威が先走って、子どもの立場を理解していないこと。
- 母親まかせで、父親と母親との間に共通理解、相互協力がある見られないこと。
- 父と子との話し合いが少ないこと

親子座談会から
子供の教育
を考える

◎こんな時とともいやだ

- 勉強の最中に、親の方で仕事をいつけたり、なんのかわんと途中で注文をつけることがある。
- 親のいいつけは一方的である。
- 子どもの前で夫婦げんかをしてほしい。
- 兄弟げんかをした時、そのわけを聞いてから叱ってほしい。
- 仕事をいつけるといって、何かを買ってやると言いながら約束を守らない。
- 酒をのんでいるとき、子供の前で平気でないやらしいことを話しているとき。

◎子どもは

- 干渉されたくない。
- 認められたい。
- 友だち、仲間がほしい。(子どもは仲間によって磨がられる。子供の友だちを大切に)
- 比較されたくない。(お前は○君のようにどうしてできないの?)
- 何んでもほしがらる。(ほしいことと、必要なことの違いを区別して与える)
- 家庭の団らんを。(家庭は、子どもにとってかけがえのない生活の場であることを……)

◎そこで

だからと言って、子どもの立場、子どもの要求、欲求を第一にすると言うことはありません。子どもを甘やかしたり、野放しは、無意識のうち子どもにぎゅうじられてる姿になっていることが多い。平和ムードで、子ども中心の生活は、たしかに気苦労はないでしょう。しかし、子どもが青年期になって、親が子どもに対処する手がかりがなくなった親の姿は、あわれで悲しいものであると言われております。毎日の生活の中で親が子どもによい影響を与え、人間として大切なものの見方、考え方、行ない方など、基礎的な事柄を幼いときからしっかりと身につけさせることは当然であります。



蓬田幼稚園
 生活発表会
 教育目標 たくましい子ども
 ○よいからだ
 ○やさしい心
 ○よく見,よくきき,よくはなす

蓬田保育所
 おゆぎ会
 明るい子
 つよい子
 元気な子



民生

年金相談室



問 なぜ、すべての人が年金制度に加入しなければならぬのですか。

答 いざというときの生活の保障は、社会的なこととしていわず、お互いに助け合うという精神がその基本にあります。たとえば、現在のおとしよりの老令年金は、いま働いている人たちの出したお金の生かされて支給されています。その人たちが年をとると、また次の世代の人たちの出したお金の生かされて年金が支給される……という具合に順ぐりになっていくものです。決して、ただ単に自分の積立てたお金だけで自分の老後の年金が支給されるというものではありません。

このようなことが一国の社会的な制度としてとられている限り、その制度の安定と発展のためには、すべての国民がいやうなく加入しなければならぬのです。

課 員

めには、すべての国民がいやうなく加入しなければならぬのです。

老令年金受給者の皆さん現況届の時期です

国民年金の老令年金(通算老令年金も含)を受けている方が、これからも引き続き年金を受けるためには、毎年二月十五日までに現況届を提出しなければなりません。

今回提出する方は、昭和五十二年二月十五日以前から年金を受けている方ですが、該当者には社会保険庁業務課からハガキ大の届出用紙が直送されます。

この届出は生存の事実等を確認するためのものですから、必要事項を記入のうえ、役場で村長の証明を受けてから提出して下さい。

なお、この届を期限までに提出しませんが、六月の支払い分から差し止められますので、必ず二月十五日の提出期限までに提出してください。

届出用紙を紛失したときは、役場国民年金の窓口へおいでください。

新民生委員に委嘱辞令交付

任期満了による新民生委員は左記のとおり決定し、十二月七日辞令交付を蓬田村中央公民館で行いました。

中 沢 坂本 静夫 48才 新	長 科 坂本 豊光 51才 再	阿弥陀川 森 仁 51才 再	蓬 田 武井 キノ 63才 再	郷 沢 高田 徳松 61才 再	瀬 辺 地 北川 健三 64才 再	広 瀬 久慈 繁三 60才 新	高 根 小野寺 守 50才 再
-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------



昭和五十三年度 保育所入所申請のお知らせ

- 一、入所該当者 昭和四十七年四月二日から昭和五十一年四月一日まで生れた者
 - 二、入所人員 一五〇名
 - 三、受付期間 昭和五十三年一月十七日・十八日(二日間) 午前九時から午後二時まで
 - 四、受付場所 蓬田村役場二階会議室
 - 五、持参するもの 印鑑、健康保険証
- 蓬田村役場民生課



昭和五十三年度 赤十字社員増強運動にご協力を

日本赤十字社は社員を増強し、社費の安定的な増収をはかることにより、組織の強化と、人道的任務の遂行が期し得られるので、毎年展開されております。近く日赤協賛委員が、みなさんのご家庭にお伺いしますので、ご協力をお願いします。

社員の種別は次のとおりです。

- ◎社員 毎年三〇〇円
- ◎銀色特別社員 一〇、〇〇〇円 毎年千円ずつ十回納めてもよい。
- ◎金色特別社員 三〇、〇〇〇円 毎年三千円ずつ十回納めてもよい。

尚、銀色特別社員より昇格の場合には二千円ずつ十回納めてもよい。

- ◎銀色有功章 拾万円(一時金の場合)
 - ◎金色有功章 式拾万円(一時金の場合)
- 金・銀色有功章の分納は五回以内とする。

日赤蓬田村分区長 坂本 大博

初夢随感

産業経済課長
佐藤 喜一

日本人の勤勉さは工業生産の増大、輸出の増大を生みついに円高という経済問題をも引き起した。福田内閣は十一月末に改造人事を行ない円高に対応する対策を新年度予算によって解決できるよう考えているとマスコミは伝えている。政府は貿易収支の黒字を減らすためアメリカから小麦・大豆・飼料作物などの農産物大巾輸入などを考えているのである。となれば国内農業事情に圧迫が来るのは当然であり、我が蓬田村農業にも影響が現われるのは必至である。昭和五十三年はこの国家的問題を底流としてそこから派生する問題が多く第一次産業を主産業としている蓬田村にはつらい年になると思われる。

ある意味ではすでに十年後の国内事情を見通しあらためて自分の将来計画を見直してみるべき時点に至っていると言えるのではないか。

ともあれ今後の蓬田村の産業経済について展望の一端を述べて見たいと思う。

まず農業であるが現実というのは誠に厳しく水田利用再編対策という政策が決定され農家はこれに対し協力せざるを得なくなった。転作に対しては奨励補助金が支給

されることになるが、転作するには土地条件、耕作技術、労働力等の多種多様な問題を解決しなければならぬ。しかし青森市から二十キロメートルの位置にある都市近郊農村であるという強さを生かせば、また東北縦貫道や国道二八〇号バイパスができて益々都市との距離が縮まることを考えればある程度の明るさは予想できるだろう。すでにしたいだけ、なめこの生産に着手し所得の増大を図っている農家もみられる。一方畜産に目を向ければ現在すでに着工し一部完成にこぎつけている草地開発事業も草地舎ヘクタールを含む一三〇ヘクタールの牧場が昭和五十七年頃には完成し二五〇頭の牛が放牧される計画であり、すでに放牧牛戸頭が導入され村内で飼育されている。完成すれば緑の放牧地と青い陸奥湾が一望に展開し、大パノラマが完成する。

次に生活環境について述べれば農村総合整備モデル事業も着々と進行しており村内主幹道路は整備舗装され各家庭の台所から出る家庭排水を処理するための施設も整備される。また環境改善センターの建設も行なわれ農村公園の整備と相まって住みよい憩いのある環境が形成されるであろう。他に現在掘削されている玉松台の夢の温泉計画も夢ではなくなり新年早々にも湯けむりをあげて村民の皆様にも潤いをもたらすであろう。

最後に我が村に始めてできた注

文紳士服縫製工場である株式会社蓬田紳装についてふれてみたい。五十二年創業を開始し毎日小樽市より受注発送されており今後道路事情がよくなれば更に販売力の拡大が期待され一層の業績上昇が見込まれるので所得の増大、生活水準の向上に一役買うであろう。

住みよい、豊かな村づくりを基本とする蓬田村行政の現状をもとに充実した生活を営むため力強く前進して行く姿を初夢随感としてまとめて見た。

村民の皆様お目出とうございます。



蓬田紳装の社員として

上衣第三班 森 フミエ

私は、藤蓬田紳装の誕生と同時に入社した一人です。入社後九ヶ月を経た現在の心境は、「私は今とても幸福です」の一言に尽きます。幸福の一つは、工場内の環境がよいことです。もし、この工場がなかったら、多分、今頃は雨風にあられ、寒さに震えながら働いていたことでしょう。けれど今は寒さ知らず、外で雨風が狂っていても工場内はとても暖かいです。工場の屋根や壁を見るたびに、村民皆様の暖かい理解と関係者の方々の並々ならぬ努力があったればこそと、深い感謝の気持ちで一杯でございます。

次は、私達社員一人一人に対する役員及び村民皆様の思いやりがとても深いことです。私達はいくつもの大切な役目をもっており、一つは農家の主婦として、二



つめは、妻として、母として、三つめには、企業における職業婦人として、一つの体でこの三つの役目を果たさなければならぬのです。このような状態にあるものが社員の過半数を占めております。このような私達に対して、社員の声をよく聞き、会社でよく検討し、お互いにゆずり合い、助け合い、一つ一つを解決していただいております。村民皆様の御理解、役員の方々の御苦勞、そして、私達の家族の協力によって支えられたこの職場に心から感謝しながら、村民皆様の御期待に応えるべくこの会社の社員として一生懸命頑張ります。

最後に、私達が、毎日、朝礼時に合唱している社訓を御紹介します。

一、私達は、蓬田紳装の使命に誇りをもって勤めましょう。

一、私達は、仲よく元気に働くことにしあわせを求めましょう。

一、私達は、誠実に生産を高め愉快な職場をつくりましょう。



